

貸借対照表

株式会社 近澤建設

令和元年 6月30日 現在

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 275,797 】	【流動負債】	【 32,789 】
【固定資産】	【 195,686 】	【固定負債】	【 91,002 】
(有形固定資産)	(130,909)		
(投資その他の資産)	(64,777)		
		負債合計	123,791
		純資産の部	
		【株主資本】	【 347,693 】
		資本金	30,000
		利益剰余金	317,693
保険積立金	4,977		
		純資産合計	347,693
資産合計	471,484	負債・純資産合計	471,484

損益計算書

株式会社 近澤建設

自 平成30年 7月 1日

至 令和元年 6月30日

単位：千円

科 目	金 額
【売上高】	554,146
【売上原価】	335,653
【売上総利益】	218,492
【経常利益】	68,953
	税引前当期純利益金額 16,546
	法人税、住民税及び事業税 6,112
	当期純利益金額 10,433

株主資本等変動計算書

株式会社 近澤建設

自 平成30年 7月 1日

至 令和元年 6月30日

単位：千円

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	30,000	1,800	305,459	307,259	337,259	337,259
当期変動額						
当期純利益			10,433	10,433	10,433	10,433
当期変動額合計	-	-	10,433	10,433	10,433	10,433
当期末残高	30,000	1,800	315,893	317,693	347,693	347,693

個別注記表

株式会社 近澤建設

自 平成30年 7月 1日

至 令和元年 6月30日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。ただし、原材料は最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

当期末株式数（発行済普通株式）

600株